

# 進路・職業に関する話し合い ご両親や保護者・介護者への情報

若者の多くにとって、学業・職業進路から自分に合ったものを選択するには、よく考えながら手探りすることが必要です。

どのような教育や職業の選択を希望するかは、自分が周りの人にどう馴染めると考えているか、またご両親や保護者・介護者、教師、友人の自分に対する期待などによって形成されることが多々あります。

若者の進路・職業選択において大きな影響を与える立場にあるご両親、保護者・介護者、教師は、中等・高等学校在学中よりもはるかに前から、進路・職業に関する話し合いを始めなければなりません。

研究により、選択可能な学業・職業選択肢に対するジェンダーバイアス（男女の役割について固定観念を持つこと）は6才ほどの幼い子どもにまで見られることが明らかになりました。そのような性別による固定観念の一例として、女子が男子と比較してコンピューター・サイエンスやエンジニアリングにあまり興味がないはずだという観念が挙げられます。

成功している様々な専門家や職人に会う機会をもつ若者の数は少なく、職業の世界で活躍し、お手本となりうる幅広い人々と接する機会が必要です。

## ではどのように進路・職業に関する話し合いを持てばよいのでしょうか？

ご両親はお子さまの希望・夢に興味を持っている態度を示すところから、進路・職業に関する話し合いを持つことができるでしょう。次を考慮しましょう：

- お子さまと進路・職業について話し合いを持つ時間を作りましょう
- お子さまの希望・夢に賛同し、「夢を打ち砕く」ことのないように気をつけましょう
- お子さまの学習内容を学業・職業進路と結び付けましょう
- 正確で最新の学業・職業進路や労働市場情報を提供しましょう
- 選択可能な幅広い選択肢や進路情報について、お子さまに紹介してあげましょう優れた最初の第一歩としては、[myfuture](#)ウェブサイトの利用が挙げられます。

このように進路・職業選択に関する話を始めるきっかけとなるものを利用しましょう

今までに成し遂げたことでとても誇らしく思うことは、どのようなことですか？	今までに達成したことの中で、自分が一番満足しているものは何ですか？	5年経った後、自分は何をしていると思いますか？	今までに見た、または聞いた中で興味を惹かれる仕事はありましたか？ どのような点に惹かれましたか？
アルバイトの経験からどのようなスキルを身に付けましたか？	あなたの憧れの仕事自宅から遠く離れた場所にある場合はどうしますか？	何かについて学ぶ機会があるとすれば、何について学んでみたいですか？	世界や地域のどんな問題点を解決したいと思いますか？

D23/0256774  
2023年2月